

災害等に備えて 地域の自主防災組織をつくりましょう

自主防災組織は、「自分たちのまちは自分たちで守る」という自覚と連帯感で、地域やグループで自主的に結成し、災害に備えて被害を予防・軽減するための活動をする組織のことをいいます。

城里町では、区単位で13の自主防災組織が活動しています。

○自主防災組織はどんな活動をするのでしょうか？

自主防災組織は、災害が発生した場合、情報収集・伝達、初期消火、救出・救護、避難誘導、避難所運営（給食・給水、清掃等）、二次災害防止のための巡視など、幅広い活動を行います。

日頃から行う活動や訓練として、次のようなものが挙げられます。

- ・組織体制の整備 … 緊急連絡網の作成、防災資機材の整備等
- ・防災知識の習得 … 防災に関する研修会の開催等
- ・応急処置法の習得 … 救急救命講習会への参加等
- ・防災訓練の実施 … 初期消火、避難誘導、炊き出し・給水等

○自主防災組織の相談窓口は？

自主防災組織の設立や活動についてのご相談は、役場総務課で随時受け付けています。

問合せ 総務課 消防防災G ☎ 029-288-3111 (内線 223)



▲錫高野区自主防災組織が実施した心肺蘇生法、AED講習会の様子（10月27日）



▲下阿野沢区自主防災組織が実施した消火訓練の様子（11月23日）

俳句

晴れてゐて雨降る不思議稻刈田
飯田 勇一

語り部の唄ひ始めし炉火明り
綿引 英子

土と日の香り満たせり干し大根
飯村 昭子

故郷にはらから集ひ小春空
今瀬 多代美

冬日弾く灯台凧と海見ゆる
仲田 まちゑ

家々の冬の灯日暮れ濡れてをり
鯉渕 寿美恵

大根を洗ふしぶきの眩しかり
袴塚 よし子

寒椿水に落ちてはなほ赤し
森 静江

立ち上がり早き寒月夕仕度
竹内 幸子

初釜の仕度に鶴の茶器揃へ
一杉 常子

鳩浮きて嘴光り水の玉
瀬谷 博子

渚木や風に戯る冬の雲
田口 勝元

つづら折りカーブするごと紅葉
散る
岩下 金司

川柳

古希を過ぎて父に似てきた吾の顔
富田 多蔵

陰剤撒いてその後はパチンコ屋
青木 新三郎

かかし君今日も前向き姿勢良く
飯村 孝一

文芸しろさと

短歌

木もれ陽が床に揺れるて朝餉時
秋たけてゆく一日のありて
大森 久子

田の面を黄一色に染めあげて
空は群青に収穫の秋
青柳 京子

天ぶらを揚げて持ちくれし妹の
薩摩芋などのいと旨かりき
所 美恵子

機械にて草刈りをする作なしの
畑の多く秋風揺らぐ
杉山 みちこ

大き夢小さき夢にふくらみて
ふうせんかぶらの緑やさしも
渡辺 千紗子

踏切の老男を助けし女性即死す
夫逝きしより涙流しぬ
山形 式妙

茨展に孫の作選ばれて家中歡喜
天に届し
菌部 光子

秋風に紅葉色づきあけぼの杉は
小鳥さえずる大空の中
鶴田 すが

小春日や縁に爪切る喜寿の身の
生きてる証し一人喜ぶ
富田 欽子

真んまるい真赤な大きい太陽みゆ
ファンタスティックな初冬の日ぐれ
枝 不美

登り降りしつ眺むる紅葉は競い
あふがに彩を違えり
川上 千代子

風去りて音なき庭にザザン花の
紅色あやし夕陽とけ行く
島 愛子

照り返しの銀杏葉を蹴り散らし
児のたわむるる寺の境内
多田 志保子

亡き父の愛用の杖出できたり
過ぎにし日々を思い出しおり
坪井 きよ子

煤掃きの記憶は家財運び出し
外での昼餉顔黒きまま
萩谷 登喜子

西の陽に朱に輝きて紅葉する
心に残る西山荘は
富田 佐智子

